審査から

平成28年度決算（一般会計・特別会計） ・平成28年度病院事業会計決算を審査

本定例会では、決算についても各常任委員会で審査しました。各常任委員会では活発に質疑が行われ、決算審査の結果「認定すべきもの」と決し、多数の意見が付されました。

健康福祉

9月8日・11日・15日に議案4件、認定2件の審査を行いました。

生活保護費国庫支出金返還金
委員 基本的に前年と比べて受給者が少なかったという捉え方でいいのか。
生活保護担当課長 当初見込みよりも給付金が少なくなつた事実はありますが、伸び率を見て多目に見積もつてい

保健所次長 HIVですとか肝炎の検査等に関する費用という事で、見込みよりも若干検査数が少なかったという事情等があります。
委員 HIVが最近ふえていると聞くが、町田管内ではどうか。
保健所次長 HIVに関しては、医療機関から発生届という形で保健所に届けが参りますが、管内の医療機関で最近、HIVの報告は、市の保健所には挙がっていないか

総務

9月8日・11日・15日・29日に議案4件、請願1件、認定1件の審査を行いました。

産業観光課長 市内45の商店会全てにおいて都合2回ヒアリングを実施する予定です。次年度以降に対応策を商店会とともに考えていきたいと思っています。
企業等立地奨励事業
委員 この2社に決まつた経緯を教えてください。また、事業着手後、税額が確定する前に概算払いで交付するが、この概算払いで減つた状況と

産業観光課長 2社が決まつた経緯は、1社は数年前から相談があり、やっと現実

商店会ステツプアップ応援事業
委員 商店街の方々が店舗を維持していけずテナントになり、そこにチェーン店が入り、なかなか商店会に入つてくれない現状について、支援や、どういった形でヒアリングをして問題解決につなげていくのか。

かふえた場合は、交付額が決定した際には戻すという形なのか。また、これによって、雇用だとか、どういう状況が見込まれるのか。

決算審査（健康福祉） 認定すべきものと決定

- 障がい者支援センターにおいては、専門的対応が必須である。一般就労された障がい者が、勤務先をやめ戻った時のフォロー体制の充実を含めより一層の市役所からの指導・研修・サポートをしっかりと行われたい。
 - 高齢者あんしんキーホルダーは、高齢者人口の約15.3%に行き渡っている。寝たきりの方、施設入所の方を除く、約9万人への配布アプローチを実施されたい。
 - 高齢者福祉センター（ふれあい館）の利用者数が全体的に減少している。方策を取り利用者数の増加を図られたい。
 - 生活困窮者に対する就労支援による就労率の向上と就労後の定着率を更に高められたい。
 - 成人健診事業の受診者数が、胃がんリスク検診のみならず全体的に減少している。受診勧奨をすすめ、受診者数の増加に努められたい。
 - 乳がん検診、大腸がん検診の年齢の引き下げを図られたい。
 - わくわくワクチンへの登録者数は順調に伸びているが、アクセス数が伸び悩んでいる。使いやすさ・内容の充実等を図り、アクセス数の向上にも努められたい。
 - 介護保険事業会計において、保険料未納者への延滞金等の徴収強化が行われたが、生活実態に応じた指導を行い、無理な徴収は行わないよう取り扱われたい。
 - 要介護度改善ケア奨励事業の更なる改善を図られたい。
 - 後期高齢者医療事業会計において、保険料未納者への延滞金等の徴収強化が行われたが、生活実態に応じた指導を行い、無理な徴収は行わないよう取り扱われたい。
- 【認定第2号】
- 当年度純損失336,838,094円に対し、医療の質を上げること、医師確保を行うこと、救急医療体制の充実を図ること等を踏まえ、経営安定を行うよう図られたい。
 - 企業債の融資資金を見ると、利率2.1%台が多い。市と連携し、引下げの協議を検討されたい。

など計16件の意見を附帯決議として付しました。

決算審査（総務） 認定すべきものと決定

- 電力自由化に伴い、契約の見直しや自然エネルギーを供給源としたエネルギー利用を促進しながらLED化なども合わせて公共施設の光熱費削減に努められたい。
- 入札参加者の選定に係る市内事業者及び準市内事業者の取り組み基準を定め、営業実態のない市内事業者・準市内事業者の参入を防ぎ、本来の意味での市内の経済循環や市内事業者の育成に努められたい。
- 広報活動については、メディアで取り上げられた内容をHPやSNSと連動させるなど、より一層の効率的な発信をされたい。
- 総合案内のサービスについては、目標を高く設定し、更なる市民満足度の向上に努められたい。
- 個別の事業目的に用途をうたった「ふるさと納税」に関しては、その収支のバランスを図られたい。
- 公共施設再編計画については、短期実行計画の対象となっている直営43施設も含めて市民と丁寧な合意形成を基本にすすめられたい。
- 業務改革・改善の取り組みについては、横のつながりが重要である。今後も継続してファシリテーターの育成をされたい。
- 技能功労者表彰については、技術者にも事業者にとってもより魅力的な制度になるよう、また受賞者本位の会となるよう改善を図られたい。
- 農地あっせん事業で新規に貸し出せる農地が少なくなっているとの事、遊休農地解消と耕作者が働きやすい環境づくりに向けて努力されたい。
- 農地・農道整備に水路整備を加え、要望対応はもとより、「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」などで市も主体的に計画、整備を促せられたい。
- 新・元気を出せ商店街事業補助金については、明白に商店街の発展につながる事業内容に転換されたい。
- 観光案内については、市外来訪者や外国人観光客にとって、町田の魅力が伝わり、かつ相談しやすいよう、駅前での案内方法により工夫されたい。

など計26件の意見を附帯決議として付しました。

9月29日の本会議において、下記の決議が全員一致をもって可決されました。

委員会提出議案第3号

「決算審査における意見に対する回答を求める決議」

今後、決算審査において付される意見については、いかに対応し、また、改善したのか、その上で次年度の予算編成にどのように反映されたのか、毎年6月定例会の告示日に書面で回答を提出するよう求める。

以上、決議する。

町田市長宛て

町田市議会の 会議録

町田市議会のホームページ、市庁舎3階の議会図書室又はお近くの図書館でご覧いただくことができます。

(本定例会の会議録は、11月末に完成予定です。)